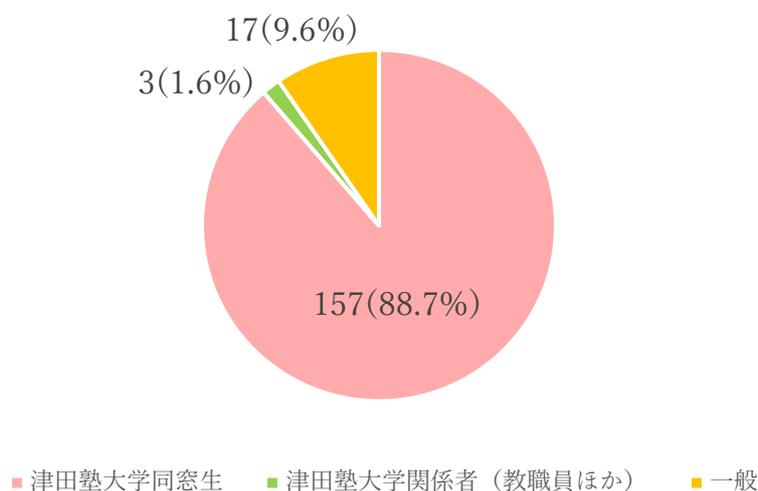


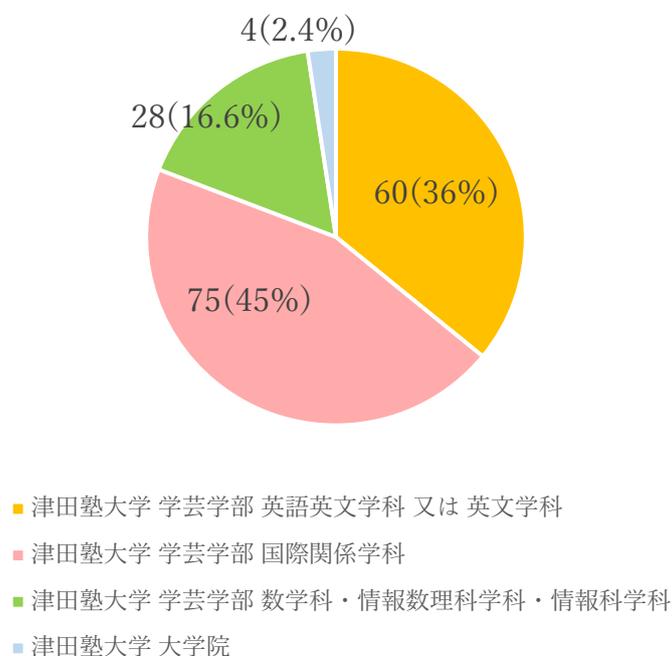
2024年9月14日開催 津田梅子新5000円札記念シンポジウム
『津田梅子の創造と挑戦、そして明日へ～未来を切り拓く女性の道標～』
アンケート集計結果

集計期間：2024年9月14日～2024年9月18日 総回答件数：177件、回答率40%

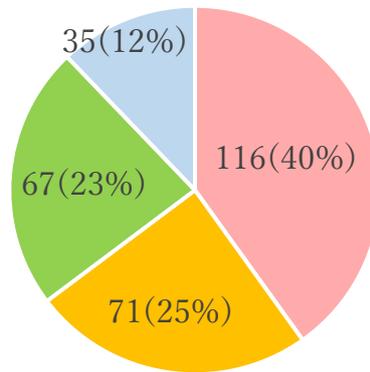
ご所属についてお伺いします。



津田塾大学同窓生の方へお伺いします。学科を教えてください。

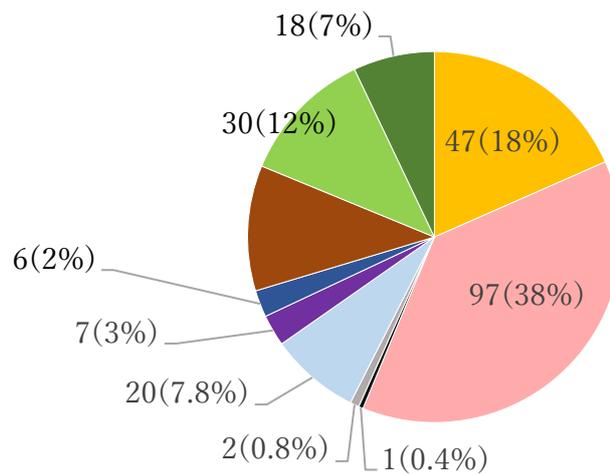


シンポジウムに参加した理由をお聞かせください。 ※複数回答可



- 津田梅子に興味があったから
- 津田塾大学に興味があったから
- 話を聴きたい登壇者がいたから
- 知人/友人/家族に誘われたから

シンポジウムをどこで知りましたか？ ※複数回答可

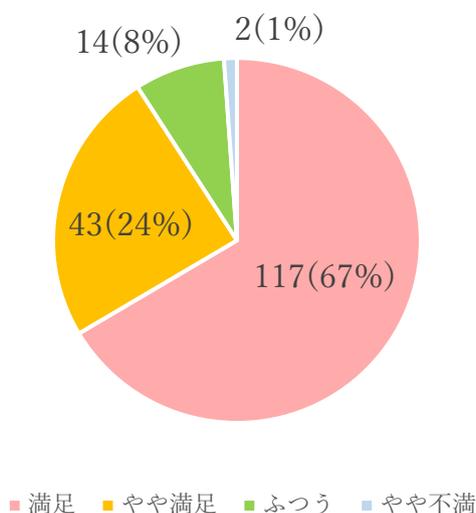


- 津田塾大学同窓会ホームページ
- 津田塾大学同窓会会報誌『津田塾たより』の記事や同封されていたチラシ
- KITTEや都庁で配布されていたチラシ
- 津田塾大学で配布されていたチラシ
- 津田塾大学広報誌『Tsuda Today』の記事
- 津田塾大学同窓会のSNS (Facebook/Instagram)
- 津田塾大学のSNS (Facebook/Instagram/LINE)
- 津田塾大学同窓生や津田塾大学関係者などからのメールによる案内 (OGトーク含む)
- 津田塾大学同窓生や津田塾大学関係者などからの口コミ
- 新聞記事やニュース報道

お住まいの地域を教えてください。

・東京都	83	・北海道	2	・長野県	1
・静岡県	20	・三重県	2	・奈良県	1
・神奈川県	17	・大阪府	1	・兵庫県	1
・山梨県	6	・香川県	1	・広島県	1
・群馬県	5	・京都府	1	・福島県	1
・埼玉県	5	・熊本県	1	・シンガポール	1
・愛知県	3	・千葉県	1	・スイスジュネーブ	1
・茨城県	3	・徳島県	1	・ベトナムハノイ市	1
・岡山県	3	・栃木県	1		

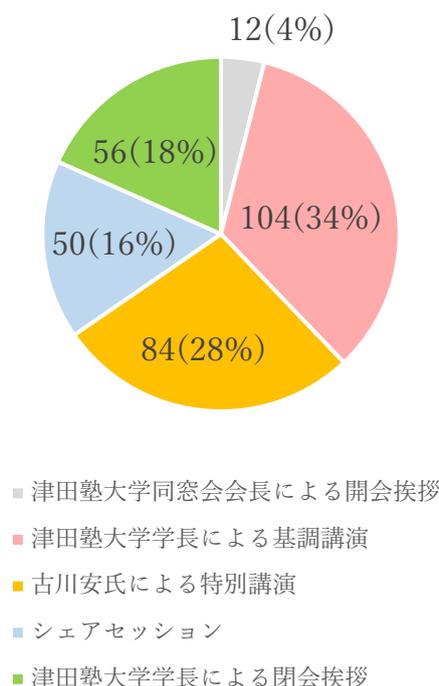
シンポジウム全体の満足度を教えてください。



ひとつ前の回答を選択した理由をお聞かせください。

- ・新 5000 円札記念シンポジウムにふさわしいプログラムであった。
- ・創造と挑戦、未来開拓に向けた意欲と熱意、同窓生の皆様の結束力と社会での活躍、に感心・感銘・感動。
- ・全体的によくまとまったイベントだった。オンラインで参加しても一体感を感じることができた。
- ・地方に住んでいると大学や同窓会からの情報が遠いものとして感じられる。声や姿を通しての発信は胸に響くものがある。しばらく余韻で頭が活性化しました。
- ・長丁場にも関わらず、全く長く感じなかったです。どのお話もとても興味深く、あっという間に時間がたってしまいました。
- ・内容は満足ですが、全体的に Zoom の音声小さくて聞き取りにくかったです。
- ・内容が濃くて、久々に津田らしさ・まじめさ・パイオニアスピリットをひしひしと感じる企画だったので。女子大で学んだが故に、制約のない、質の高い教育を若い時に受けたことを改めて実感したとともに、これらが自分の人生観をつくりあげてきたことを感じました
- ・社会の中の一員、世界の中の一員、未来の世界の一員を意識することができた。
- ・このような場に参加したことがなかったのですが、ところどころ笑いも起こるような和やかな雰囲気でもとても楽しめました。

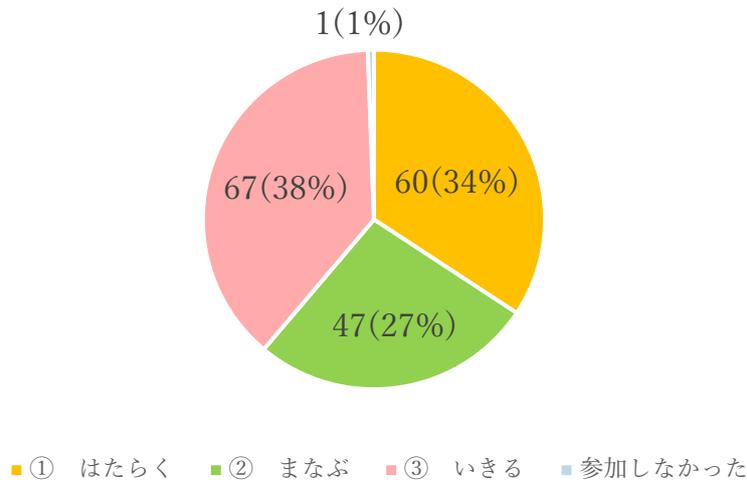
パネルディスカッション以外で特に印象に残ったプログラムを二つまで教えてください。



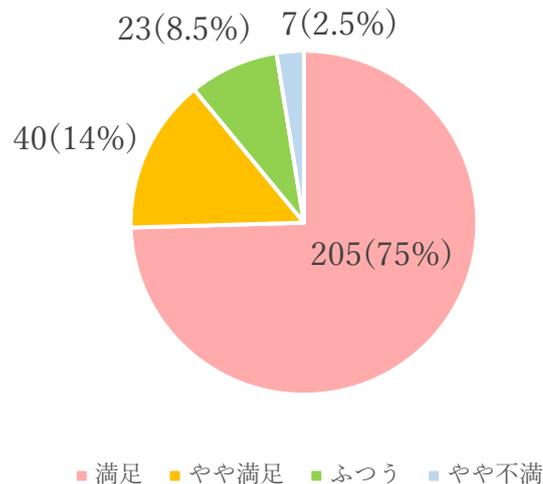
ひとつ前の回答を選択した理由をお聞かせください。

- ・ 新同窓会長の節度あるお話が伺えたこと、学長の梅子にまつわるざっばらんなエピソードが聞けたこと。
- ・ 津田梅子の歴史をまとめて聴くことができた。学生のときに聞いたのと別の印象を持つことができた。
- ・ 多様な見方、津田での学びを振り返るチャンスでした。
- ・ 女子大の未来、存在意義についての話を聞くことができた。
- ・ 特に高橋学長のお話は数値に基づいた客観的な話で、わかりやすかった。エンカレッジされました。
- ・ 学長のメッセージは大変響きました
- ・ 基調公演で津田梅子さんの人生を詳しく知ることができ、また閉会挨拶ではその梅子さんの目指した日本における女性の役割を根本におきながら、今後の女性の意識や指針、方向性などをお話しいただいたので、聴いている側も高揚感を感じて全体を終わることができました。
- ・ 古川氏のお話を通じて、津田梅子先生がどのような覚悟をもって2度目の米国を過ごされたか感じることができた。学長の閉会挨拶を通じて、自分たちがつないでいただいた諸先輩方のバトンを次の世代に渡していく番だと感じた。
- ・ これまでの固定概念の"津田梅子"とは異なる一面を知ることができた。
- ・ 自分が参加できなかった他のセッションでの議論を共有できたことで、より深い考察につながった：学長による基調講演はこれからの自分自身もつべき覚悟をいつも鼓舞してくれるため
- ・ 他のパネルディスカッションのフォローアップの機会を設けて下さり、大変良い企画だと思います。
- ・ 大学で自分の受けた良い教育を的確な言葉で確認できて、自信が持てたから。
- ・ 改めて母校の歴史や、新紙幣に起用された過程がわかったような気がした。
- ・ 戦時下における学校の存続の危機と星野あい先生のご尽力に関して、初めて詳しく知りました。また、卒業生が学校を支えてきたというありがたいサポート実績と、その循環を継続していくことで学校のブランド力が保たれていくことを説かれたのが心に響きました
- ・ 日本の統計上の位置が示されて、梅子が目指した女性の高等教育がまだ達成されていないことがわかったこと。津田の存在価値が高まっていると思う。

参加したパネルディスカッションを教えてください。



参加したパネルディスカッションの満足度を教えてください。



ひとつ前の回答を選択した理由をお聞かせください。

● パネルディスカッション①はたらく 参加者より

- ・ 草野さんの経済的自立のお話や、板倉さんの社会に出た時、女性として向き合う現実などが特に印象的でした。私自身、仕事を続けながら結婚も出産も経てきましたが、40代になって、ジェンダーギャップは民間企業においてまだまだ感じますし、企業としても女性管理職の引き上げを今まさに目標に掲げています。そのような状況から今自分が置かれている現状とも重なり気づきが多かったです。
- ・ 草野さんの名司会振りが光る PD でした。板倉さんの弁護士ならではのユーモアたっぷりのエピソード、稲葉さんによる津田の現役学生のお話、大山さんの若さ溢れるトーク、いずれも大変興味深く、PD①を選んで良かったとつくづく思いました。
- ・ 登壇者のセレクションもよく、テーマ構成もよくできていた。
- ・ 同世代の意見と卒業して間もない方の意見が交わされていて興味深かったから。
- ・ 様々な分野で活躍している同窓生の話が聞けて良かった。

- ・私も仕事をしているので、津田の同窓生の方も頑張っていることがわかり、うらやましくもあり、自分もがんばらないと、という刺激もらった。
- ・自分が興味のあるテーマについて多角的にディスカッションされ、様々な気づき、学びがあったため
- ・色々話を、異なる職種の方から聞いた。ざっくばらんな雰囲気でも面白かった。
- ・もう少し登壇者の方と近い距離で話ができたら良かったと思いました。
- ・リアルな話がいろいろ聞けたからです。
- ・女子の生き方に関するやや異なる立場からの色々な見解が聴けて自分の考え方を見直しする機会を貰った。ただ、フロアからの質問をもう少し受ける時間を設けてほしかった。
- ・実際に仕事をされている方のお話でおもしろかった。

●パネルディスカッション②まなぶ 参加者より

- ・司会の木村様、パネリストの伊藤様、下野様、松野様のお話しに聞き入ってしまいました。皆様の津田塾愛は、津田梅子様の思いを受け継ぎ、社会との繋がりを常に考え、日々ご尽力されていて素晴らしいと思いました。
- ・モデレーターの木村さんのキレが素晴らしく、3人の各世代それぞれのご経験に基づく情報提供の内容が大変面白く、学生時代、卒業後の海外で学んだ経験など、もう少しお話されてもよかったですと思います。AIとまなびのお話も、若い世代が新しい学部で学び、第一線で活躍されているのがうれしく思いました。また、津田の卒業生の共通項として、敷地内に寮があり、全国から集まった志高い優秀な女性たちが臆することなく自由に行動できる環境で梅子先生の教えを実践している一生の財産を得られたこと、私自身の経験に照らしても共感できるお話でした。
- ・パネラーの皆さんの話を聞いて、好きなことをするのは苦にならない、という気持ちを取り戻せたから。
- ・世代、卒業学科、人生経験、活躍の場が全く違う方々の学びの過程と、学びに関するそれぞれの視点をモデレーターの木村さんが見事にまとめられていたので。変動の大きい現在を生きていくうえで、参考になるいい情報をいただけたと感じます。ありがとうございました
- ・どのパネリストも素晴らしく、刺激ももらえたと、津田塾の結束力を目の当たりにしてきたから
- ・パネラーの方々は分野も年代も違っていながら、大学生の時に経験した自由な学問探究の環境がそれ以後の生き方の基盤となっているように感じられました。そして今も進化し続ける大学の姿を体現していると思います。司会の方も的確にまとめて下さいました。
- ・津田梅子の経験と津田塾で学んだ者の経験が似ていることを明瞭に確認できた。
- ・異なる分野で活躍されている方々の意見が聞けて有意義だったので。
- ・それぞれ違う分野で活躍され、年代も異なる3人の方々の話は興味深く聞いた。

●パネルディスカッション③いきる 参加者より

- ・多様性の変化、多文化共生のリアルな現場からのコメントが、勉強になりました。
- ・田舎でも、一人でも、世界の課題を考えたり、多文化共生の視点・活動のヒントを得ることはできると知ることができた。
- ・4人の方のお話それぞれ全然違っててそこがよかったです。
- ・海外の翻訳事情や日本語教育の話、ためになりました。
- ・専門家によるいろいろな視点での話を聞くことができ、とても勉強になり、自分自身を見つめ直す契機になりました。
- ・人の意識を変えるのは難しいが、着実に、共生ということへの理解が進んできていると感じられた。
- ・良く準備されたセッションでした。内容も面白かったです。
- ・変転する社会の中で「いきる」力をしっかり発揮して「社会に貢献していく」パワーを感じました
- ・異なる分野の視点からの「変化」についての話が「いきる」参考になった。
- ・様々な視点でのパネリストの知識、経験、志に触れることができたから。
- ・活力のある意見交換、会場に行きたかったです。

- ・それぞれのご経験を踏まえて、実例を挙げて話される内容に説得力があった。
- ・多様性や社会変化と言葉がお互いを認めることがわかって感動した
- ・それぞれのお立場から多様性についてお話頂き、違うことをされていても根っこは同じであること、またそれが津田塾での学びの表れでもあるように感じたため。
- ・それぞれの現場の声はリアルでもあり、今の自分の生活や仕事にもつながる内容でした。
- ・さまざまな活動内容を知ることができて、今後の自分の生活において新たな視点を持つことができると思う。
- ・多方面で活躍されている先輩方の話しは、とても興味深く、貴重な時間を過ごさせていただきました。多文化共生、共創など、大事とは思わず、もっと身近に感じなければいけないと思いました。
- ・先輩方の仕事を通して多様性の中でどう共生していくかを考えることができたため。
- ・様々な現場で働いている方々の意見を知ることが出来、自分の視野や考えの幅が、またせまくなっていることに気づくことができました。「やさしい日本語」相手のことを考えて言葉をえらぶ、私も心がけていることなので続けていきます。
- ・学生時代、異文化理解を学び、長い年月を経て、多文化共生・共創について学び考える機会を得て、大変有意義だったから。

その他、ご意見やご感想がありましたらご記入ください。

- ・女子大、津田塾大の素晴らしさを改めて感じました。ありがとうございました。
- ・津田梅子と卒業生の活躍とその後ろにある心持を聞いて、とても励まされました。素晴らしい活躍をしている方々なのですが、同窓生ということで親しみを持って聞けたからかもしれません。良い機会をありがとうございます。
- ・満員御礼の会場で、老いも若きもメモをとる姿を見て、津田塾生だなと、感じました。
- ・登壇者の方々の話術も巧みでとてもわかりやすく、楽しく拝聴できた。
- ・この30年ぐらいで世の中が目まぐるしく変化しているので、この先予測がつかない不安もありますが “今” を大切に生活していきたいと思えます。
- ・津田塾の卒業生で良かったと改めて嬉しく思いました。皆様に恥じぬよう日々精進しなければならぬと思っております。このような企画をしていただき感謝申し上げます。
- ・新5000円札発行を機に、様々なメディアにも取り上げられて、梅子先生の功績や、大学に対する国民の認知度が高まっていることは、誇らしい一方で、大学の名に恥じぬよう、自分もさらに精進を重ねないといけないと、身が引き締まる気持ちです。私自身50代半ばになり、仕事においても、自分に期待される役割のうち後輩への指導の部分がますます大きくなる中、自分自身の学びの機会をいかに確保するか、そして、その学びで得られたものを社会に還元出来るか、考える機会になりました。今回、オンラインで参加出来て本当に刺激になりました。同窓生事務局の皆様をはじめ、シンポジウム開催に関わってくださった全ての皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。
- ・少子化で大学の定員割れ、女子大の人气がなくなっている傾向がありますが、津田塾大のような大学が、今後もずっと女子大で、これからの日本を支えていくような女性を輩出してほしいと改めて思いました。
- ・私は男性なのですが、女子大というものが少しわかった気がしました。参加してよかったです。ありがとうございました。
- ・このシンポジウムを企画くださって、ありがとうございました。思い切って参加して良かったです。
- ・このようなイベントを開催いただき、本当に感謝しております。大学の友達との繋がりも少なく同窓会も開かれず、寂しい思いをしておりましたので、とても有意義でした。
- ・久しぶりに、津田塾生に戻れた気持ちになって楽しかったです。今年の新札発行日、そして今日の記念シンポジウムをずっと楽しみにしていました。やっぱり津田の皆さんは力強く、しなやかでいいなって思いました。記念グッズも大切にします。このような素晴らしいシンポジウムを企画して下さった関係者の皆さまに御礼申し上げます。
- ・こんなに沢山の参加者がいておどろきました。お世話くださった理事、事務の皆様、モデレーター、パネリストの皆様、本当に有難うございました。

以上